

第9回ワクチンチーム会合（福岡市における新型コロナワクチンの接種体制整備と取組説明）

《開催要領》

- ・ 開催日時：令和3年12月22日（水） 18：15～18：50
- ・ 参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣
高島 宗一郎 福岡市長
木本 昌宏 福岡市保健福祉局新型コロナウイルスワクチン接種担当部長
森山 浩一 福岡市保健福祉局新型コロナウイルスワクチン接種担当課長

《議事概要》

（堀内大臣）

- ・ ワクチンチーム会合にお越しいただきありがたい。指定都市である福岡市のワクチンの接種体制や取組について伺える機会であり、大変貴重であるとする。
- ・ ワクチン接種については、全人口の8割の方が2回目接種を完了しており、3回目接種についても12月から始まっており、基礎自治体の方々にご協力頂きありがたい。
- ・ 3回目接種につきましては、接種間隔を2回目接種の完了から8か月以上としていたが、オミクロン株や様々な状況から、医療従事者等や重症化リスクの高い高齢者の方を6か月に、一般の高齢者の方も、1か月短く、7か月にさせていただくことを発表した。
- ・ モデルナ社ワクチン約500万回分、そしてファイザー社ワクチンを約200万回分、追加で配分することやスケジュールについて発表したところ。
- ・ 福岡市ではUIに優れた予約のシステムの構築、医療機関と連携した様々な接種体制を構築されていると聞いている。
- ・ 自治体の好事例を横展開できるよう、ワクチン接種推進担当大臣としての情報発信を推進していく。

（高島福岡市長）

- ・ 自治体のワクチン接種にあたって尽力いただいていること、自治体を代表して感謝申し上げたい。
- ・ 福岡市では、とにかくいかに速く打てるか、そして同数を接種するならば、どなたから順に打っていけば良いか、21年1月から市内の医療機関や従事者の皆様と接種体制を一緒に検討してきた。
- ・ 接種順位が重要と考えており、保育関係もしくは介護従事者などのエッセンシャルワーカーの方々の優先接種や、24時間接種会場の開設、独自優先接種の実施等に取り組んできた。
- ・ オミクロン株の市中感染が確認され、3回目の接種への注目が高まっている。国として方針を示されたことを福岡市としても取り組んでいきたい。
- ・ その前提のうえ、自治体には、実情に応じ、さらなる前倒しや自治体の工夫の余地を残していただきたい。

（了）